

科目名	母性看護学特講Ⅱ			分野・必選別・ 単位数	専門科目 (リプロダクティブヘルス・ライツ看護学)	選択必修	2単位
担当教員	◎教授 梶原祥子					科目ナンバー	T2C110
課程	博士前期	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	女性のライフサイクル各期の特徴と健康問題について多面的に分析し、学生が自主的に発表、討論を行いながら、対象のニーズに沿った自己決定とセルフケアの向上を目指した健康支援のあり方を探求する。						
授業の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>女性のライフサイクル各期の特徴と健康問題を明確化し説明できる。</li> <li>女性のライフサイクル各期の健康支援、健康教育の実践方法について説明できる。</li> </ul>						
授業計画	回数	担当者			行動目標		
	1	梶原 祥子	教授	科目概説 授業の目的、内容、方法等について理解し、今後の授業に向けた自己の計画を立案できる。			
	2	梶原 祥子	教授	女性のライフサイクル(思春期女性)の健康問題を分析し、その支援の方向性について説明できる。			
	3	梶原 祥子	教授	女性のライフサイクル(成熟期女性)の健康問題を分析し、その支援の方向性を説明できる。			
	4	梶原 祥子	教授	女性のライフサイクル(更年期女性)の健康問題を分析し、その支援の方向性を説明できる。			
	5	梶原 祥子	教授	女性のライフサイクル(老年期)の健康問題を分析し、その支援の方向性を説明できる。			
	6	梶原 祥子	教授	性の概念、特に人間の性(セクシュアリティ)について概説できる。			
	7	梶原 祥子	教授	不妊治療と生殖補助医療の現状とその課題について評価し、看護の役割について説明できる。			
	8	梶原 祥子	教授	性暴力と被害者支援の現状と課題について評価し、看護の役割について説明できる。			
	9	梶原 祥子	教授	家族計画の概念をもとに、受胎調節に関する健康教育あり方について説明できる。			
	10	梶原 祥子	教授	性感染症の現状と課題について分析し、その予防的支援について説明できる。			
	11	梶原 祥子	教授	女性の健康支援団体の見学を行い、支援の具体的方法についての知識を有することができる。			
	12	梶原 祥子	教授	女性の健康支援団体の見学から、支援の具体的実践方法についての知識を有することができる。			
	13	梶原 祥子	教授	女性の健康課題に関する個々のテーマを決め、その支援についてプレゼンテーションを実施できる。			
	14	梶原 祥子	教授	女性の健康課題に関する個々のテーマを決め、その支援についてプレゼンテーションを実施できる。			
15	梶原 祥子	教授	授業を振り返り自己の評価を行う。 母性・助産領域における各自の問題意識を基に今後の課題を報告できる。				
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。また、討議に積極的に参加できるように、授業内容に関連した新しい知見について調べてくる。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要である。					
教科書	特に定めない。						
参考書	必要に応じて適時提示する。						
成績評価の方法および基準	プレゼンテーションを含むレポート50%、毎回の討議への貢献度50%により評価する。						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP2が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						